

案

**未来のきくがわ
まちづくり提案会**

市民ワークショップの設置・運営について

会議の目的・役割

(1) 会議の目的

本会は、新しい総合計画の策定にあたり、市民の皆さんの主体的な参加により、話し合いを通じて、市民と行政が協働で取り組むべき、『これからの菊川のまちづくり』について検討し、具体的な提案をいただくための機会として設置しました。

菊川市の姿(良いところ、悪いところ)」についてテーマを設けて再確認するとともに、未来を見据えた「市民と行政による協働のまちづくりの取組」などを含むまちづくりの意見・提案をグループで話し合い、意見・提言集にとりまとめるものとします。

(2) 会議の役割

菊川市のまちづくりについて、市民の皆さんが日頃から抱えている問題・課題点の解消、あるいは、市民の皆さんが理想としているまちを実現するために、市民の立場から、具体的な解決方法や提案事項を検討していただきます。

※行政に対する不平や不満をぶつける場ではありません。

意見、提案の内容は、個人の意見に留まるのではなく、検討テーマに応じた「グループ」として集約し、意見・提言集としてとりまとめていただきます。

※個人の主張だけでなくグループ提案としてまとめあげることが大切。

(3) ワークショップについて

会の進行は、テーマ別に「グループワーク（ワークショップ）」方式で進行します。

ワークショップという言葉からは、“イベント”や“ゲーム”を連想する人もいるかもしれませんが、単なる楽しい“イベント”や“ゲーム”ではありません。ワークショップとは、何かについてアイデアを出し合い意思決定をする集まりで、会議の一種です。しかし、“会議”といっても、通常の堅苦しい会議というわけでもありません。

わかりやすく言うと、ゲーム的な要素を取り入れ、居間でくつろぐような雰囲気を楽しみながら会議をすることであり、こうした雰囲気の中で、参加者が自由に意見やアイデアを出し合い、話し合いをしながら、その成果を参加者自身でまとめあげていく検討方法が「ワークショップ」です。

ワークショップって、こんな感じ・・・

グループ検討では、ポストイットを使った「意見カード」
を作ることで個人意見を吸い上げ、KJ法*やデザインゲーム*、
シールゲーム*等の手法を用いて意見を集約します。

意見カードを模造紙に貼り、わかりやすく整理します。
各回の最後には、模造紙を使って参加者全員で検討した内
容を発表しあいます。



- *KJ法：類似する意見をグループ化しながら一つの方向性を導き出す方法。
- *デザインゲーム：提案内容をイラスト・写真化し、紙面上にレイアウトしながらより詳細な検討を行う方法。
- *シールゲーム：シールを使った投票を行い優先順位決定する方法。

会議運営について

(1) 会議の運営方法

参加者

- ・各種団体あるいは主体的なまちづくり活動を展開する住民活動などの代表者若しくは代表者が推薦する者（18～24名程度）で構成します。

開催日時・場所

- ・会議の開催日時や開催場所は、菊川市が設定します。

進め方

●グループ分け

- ・会議は、検討テーマに応じたグループを設定して運営します。
- ・3テーマ＝グループ（1グループ6～8名程度）に分かれて検討を行います。検討するテーマは以下のとおりとします。

テーマ（グループ）		中心的な検討事項
A	産業（農工商） 観光	◆工業（企業）、商業の産業振興 ◆茶産業・農産物の振興 ◆地域の雇用 ◆観光 等
B	生活（自然）環境 都市基盤・防災	◆生活（自然）環境の整備 ◆コミュニティの推進 ◆都市基盤・土地利用の推進 ◆安心、安全の確保 等
C	子育て・教育 健康福祉	◆子育て支援 ◆スポーツ、文化の振興 ◆教育（学校教育・生涯学習）の推進 ◆福祉（高齢者・健康づくり・医療）の充実 等

●進行役・意見のとりまとめ

- ・各グループで、リーダー、サブリーダーを1名ずつ決めてください。グループでの話し合いはメンバーが主体となって行います。
- ・なお、各グループにサポーター（進行役：コンサルタント又は市事務局職員）を1名置き、進行やとりまとめのお手伝いをします。
- ・各回で出された意見などは、事務局でとりまとめ、次回開催時までに参加者のみなさんに報告します。

●開催

- ・会議は、2時間程度の会議を合計3回予定しています。

(2) 全体プログラム

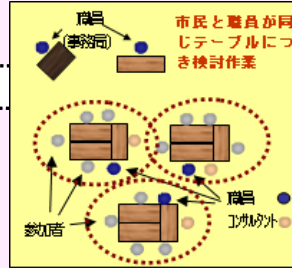
ステップ 1

オリエンテーション（初回）

○菊川市の現状や課題、現計画の検証などをふまえ、菊川市の現状特性や課題を参加者で共有する。

グループワーク（初回）

- 菊川市の良い点・悪い点
- 将来のまちづくりに対するキーワード



ステップ 2

グループワーク（第2回）

- テーマに沿って今後のまちづくり提案を行う
- 各自のまちづくりアイデアをグループワークを通して提案としてとりまとめる。

- テーマ別・事業等の提案



ステップ 3

グループワーク（第3回）

○テーマ別のまちづくり提案内容を確認しつつ、協働の考え方や役割分担も加味して、意見・提言集にとりまとめる。

- 意見・提言集のまとめ
- 協働の考え方、役割分担 など

ワークショップ
からの
意見・提言



ワークショップを通じてまとめられた意見・提案については、「総合計画審議会」や「庁内策定組織」における検討に活用し、総合計画の計画内容に反映していきます。
※意見・提言のすべてがそのまま総合計画書になるものではありません

第2次
総合計画計画
等

(3) スケジュール

開催	開催日時	内 容
第1回	月 日 午後 時から (予定)	○オリエンテーション（全体） ・会議の目的、成果の確認、市の現状等の情報提供 ●グループワーク →市の現状・課題の共有（市の「良い点」・「悪い点」） →将来のまちづくりにつなげるキーワードの整理
第2回	月 日 午後 時から (予定)	●グループワーク →テーマ別まちづくり提案（「良い点」を伸ばし、「悪い点」を改善・克服するために、みんなができることとは？）
第3回	月 日 午後 時から (予定)	●グループワーク →まちづくりを進める主体、（市民、団体、行政）役割について ・『意見・提言集』のとりまとめ

会場レイアウト

